

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。いよいよ夏本番。暑さに負けず、頑張りましょう。くれぐれもご自愛ください。

昨年から般若心経の意味を学んでいるかわら版。生き方や社会のあり方を考える際の道標(みちしるべ)です。

先月までに二百四十四文字について学びました。あと二十六文字。いよいよ佳境に向かいます。今月は「即説呪曰(そくせつしゅうわつ)」の四文字です。

孫悟空に登場する三蔵法師。インドから多くのお経を持ち帰った玄奘(げんじょう)という実在の高僧がモデルになっています。

持ち帰ったお経の中でもとくに重要なものが「大般若波羅蜜多經」。全部で六百卷、二百六十五章、千二百九十七の項から構成される大経典。文字数は六十億四千万字と言われています。もちろん、数えたわけでは

ありません(笑)。

その大経典の内容を凝縮し、教への真髄を二百七十二文字(題目の十文字を除くと二百六十二文字)の「真言」または「呪文」に要約したのが「般若心経」です。その佳境、クライマックスですから、何と言いましようか、凝縮のうえに凝縮した濃厚な原液を固めた丸薬のようなくだりです。何だか、テレビショッピングで宣伝している栄養素を凝縮した健康食品、健康薬のようですね(笑)。

「即」は文字通り「すなわち」、「説」は「述べる」、「呪」はこれまでに何回も登場しましたが、呪文の「呪」。神仏の不思議な言葉、真実の言葉を意味します。「真言(しんごん)」も「呪」と同じです。

「曰」も読んで字の如く「いわく(曰く)」。つまり、「即説呪曰」は、ここまでの二百四十四文字のいよいよ

結論に入る前に、「すなわちこの呪文は次のことを述べているのです」と前置きしているのです。

そして、そのあとに來るのがクライマックスの十八文字(羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩婆訶)と締めめの四文字(般若心経)。来月以降のお楽しみです。

大衆(人々)が救われ、世の中(社会)の争いごとを少なくするためには、一人ひとりの心の持ちよう、生き方、人間哲学が大切です。それを説くのがご心経です。

多くの人に親しまれるご心経。ここまでで二百四十八文字について学びました。あと二十二文字。来月はご心経のクライマックス。流れるようなりズムで音読する十三文字についてです。それでは皆さん、来月までごきげんよう。合掌。

※



## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ15年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

好評発売中

弘法さんかわら版  
三蔵法師  
ありがとうございます!  
ございませす!

弘法さんの生涯と覚王山

弘法さんかわら版 執筆者 大塚耕平

弘法さんかわら版 講座  
「弘法さんかわら版」講座  
仏教通史

大塚耕平

弘法さんかわら版 講座  
「弘法さんかわら版」講座  
仏教とは何か  
インドから中国、朝鮮、そして日本へ  
仏教史と東アジア・日本史を  
一気にとらえて「新・仏教読本」  
大塚耕平

